



アクセス

- JRの場合
JR札幌駅下車、北口より徒歩15分
- 地下鉄の場合
地下鉄南北線にて北12条駅下車、徒歩6分
地下鉄東豊線にて北13条東駅下車、徒歩15分
- バスの場合
中央バス01、03、04屯田線にて北大病院前下車、徒歩3分
- タクシーの場合
JR札幌駅北口より約700円
- 自動車の場合
札幌自動車道 札幌北インターチェンジより西5丁目通りを南に15分

お問い合わせ

北海道大学病院 看護部

〒060-8648 札幌市北区北14条西5丁目
TEL.011-706-5746 FAX.011-706-7618
ホームページ <http://www.huhp.hokudai.ac.jp/kango/>

インターンシップ・面接日程については
ホームページでご確認ください

<http://www.huhp.hokudai.ac.jp>



NURSE RECRUIT GUIDE

HOKKAIDO UNIVERSITY
HOSPITAL

看護職員募集案内

変化の時代を共に歩もう



北海道大学病院
HOKKAIDO UNIVERSITY HOSPITAL

フロンティア精神を大切に 共に看護のロマンを語り合しましょう

北海道大学病院の理念と目標

【理念】 北海道大学病院は、良質な医療を提供すると共に、優れた医療人を育成し、先進的な医療の開発と提供を通じて社会に貢献します

【目標】 ●患者本位で安心・安全な医療の提供 ●人間性豊かで自律した医療人の育成
●先進的かつ高度な医療の開発と提供 ●未来を見据えた地域医療・地域社会への貢献

看護部理念

- I 患者・家族の意思を尊重した看護を行います
- II 社会の要請に対応した看護を行います
- III 看護の専門性を発揮し、チーム医療を推進します



看護部長挨拶



北海道大学病院は、2021年11月で開院100年を迎えました。看護部は、長きにわたり「患者中心の看護」を大切に育んできました。その形として「患者参加型看護」を実践しています。また、看護職の成長への相互支援体制を築き、ジェネラリストの育成を基本として院内エキスパートナースの育成、スペシャリストの育成を行っています。

現代社会は、予測不可能な変化の状態にあります。そのような社会の要請にこたえるためには、これまで大切にしてきた「患者中心の看護」を維持しつつ、変化に対応できる看護師の育成が必要です。そのためには、看護職のひとりひとりが、互いを認め、支え、高めあい、健康で安心して働き続けられる看護部を作りたいと思います。

そして「看護する楽しさ」、「やりがい」を感じながら「北海道大学病院に来てよかった」と関わる全ての人と言えるそんな看護部を皆さんとともに作りしたいと思います。是非力をかけてください、皆さんを北大病院看護部でお待ちしております。

副病院長 看護部長 認定看護管理者
岡林 靖子

●特定機能病院／平成6年10月

●病床数／922床

●看護配置基準／入院基本料 7:1看護

●臓器移植施設認定（腎臓、脾臓、小腸、肝臓、心臓）

●エイズ診療拠点病院

●災害拠点病院（地域災害医療センター）

●肝疾患診療連携拠点病院

●がん診療連携拠点病院

●小児がん拠点病院指定

●造血幹細胞移植推進拠点病院

●臨床研究中核病院

●がんゲノム医療中核拠点病院指定

●外国人患者受入れ医療機関認証制度（JMIP）認証

●病院機能評価3rdG:Ver2.0認定

看護部方針

1 患者参加型看護の実践

患者の意思を尊重し、医療を受ける自らの目的を選択・達成できるように、看護の全てを開示・説明し、合意形成を図りながら患者中心の看護をおこなう

2 看護職の成長への相互支援体制

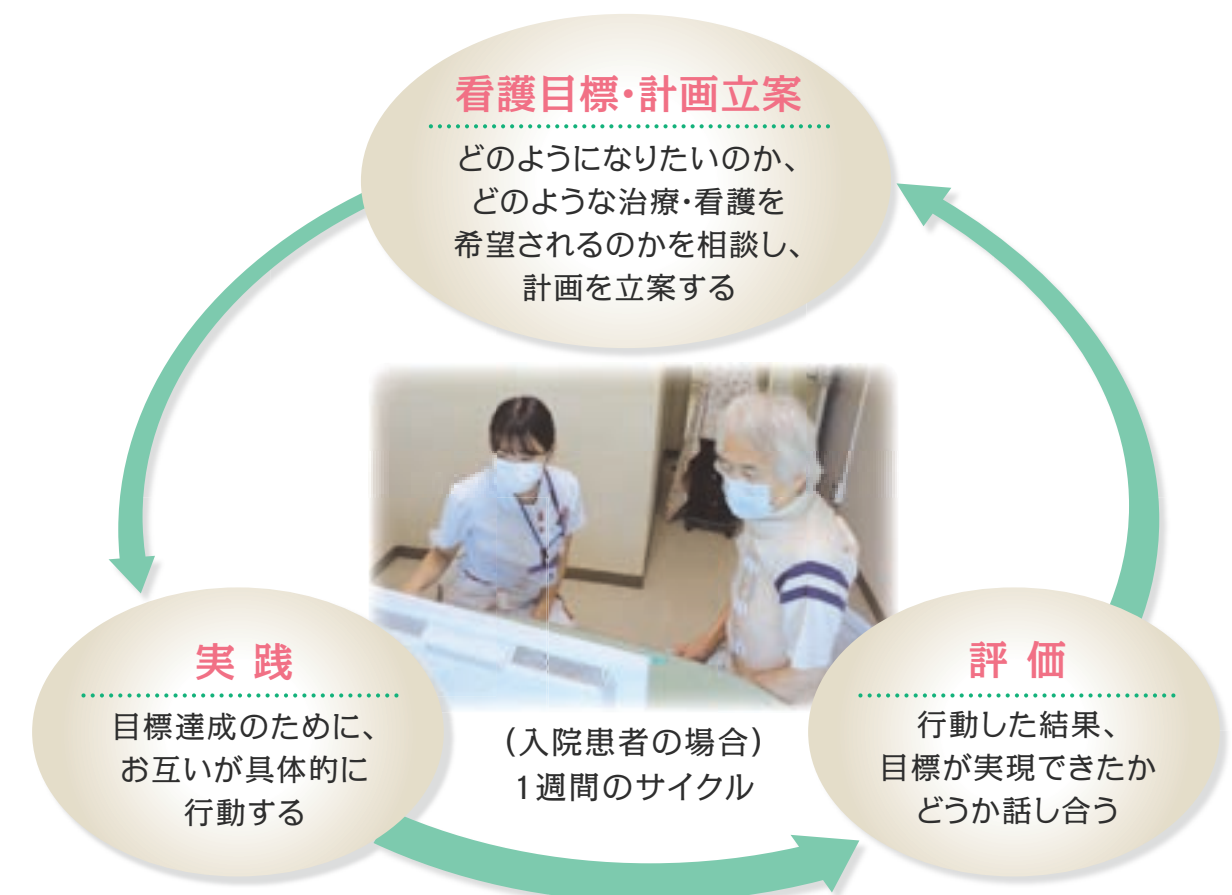
医療の進歩、社会の要請に対応できる専門職業人として能力を維持・開発できるよう、職場環境を整える

3 自由な中での新しい看護の創造

より質の高い看護が提供できるよう、最新の知見を活用して看護を実践するとともに、新たな専門的知識・技術の開発に努める

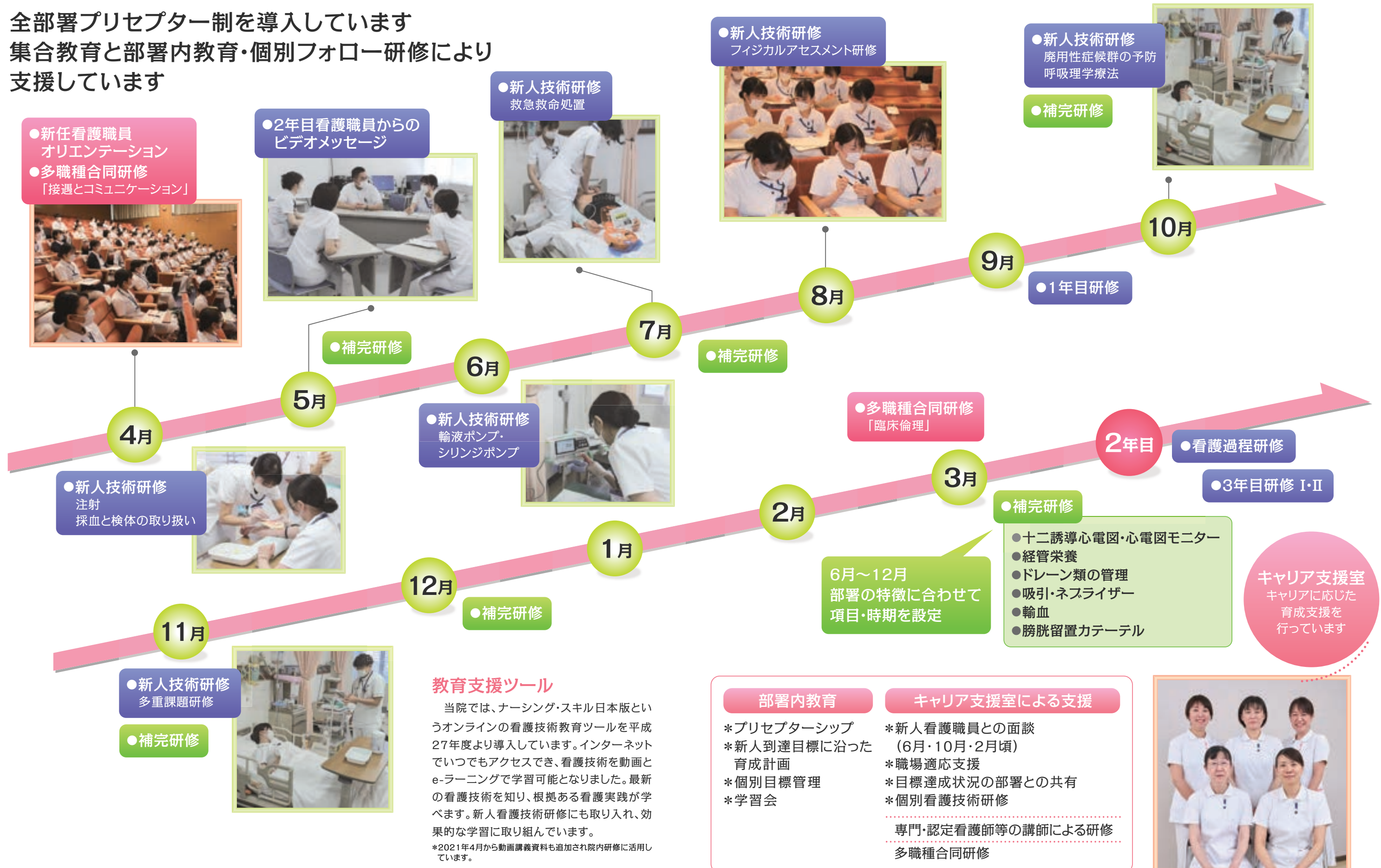


患者参加型看護



新人看護職員の支援

全部署プリセプター制を導入しています
集合教育と部署内教育・個別フォロー研修により
支援しています



教育支援ツール

当院では、ナーシング・スキル日本版というオンラインの看護技術教育ツールを平成27年度より導入しています。インターネットでいつでもアクセスでき、看護技術を動画とe-ラーニングで学習可能となりました。最新の看護技術を知り、根拠ある看護実践が学べます。新人看護技術研修にも取り入れ、効果的な学習に取り組んでいます。

*2021年4月から動画講義資料も追加され院内研修に活用しています。

部署内教育

- *プリセプターシップ
- *新人到達目標に沿った育成計画
- *個別目標管理
- *学習会

キャリア支援室による支援

- *新人看護職員との面談
(6月・10月・2月頃)
- *職場適応支援
- *目標達成状況の部署との共有
- *個別看護技術研修

専門・認定看護師等の講師による研修
多職種合同研修

キャリア開発支援

自身でキャリアデザインしながら仕事を通して成長できるよう多様な支援を整えています

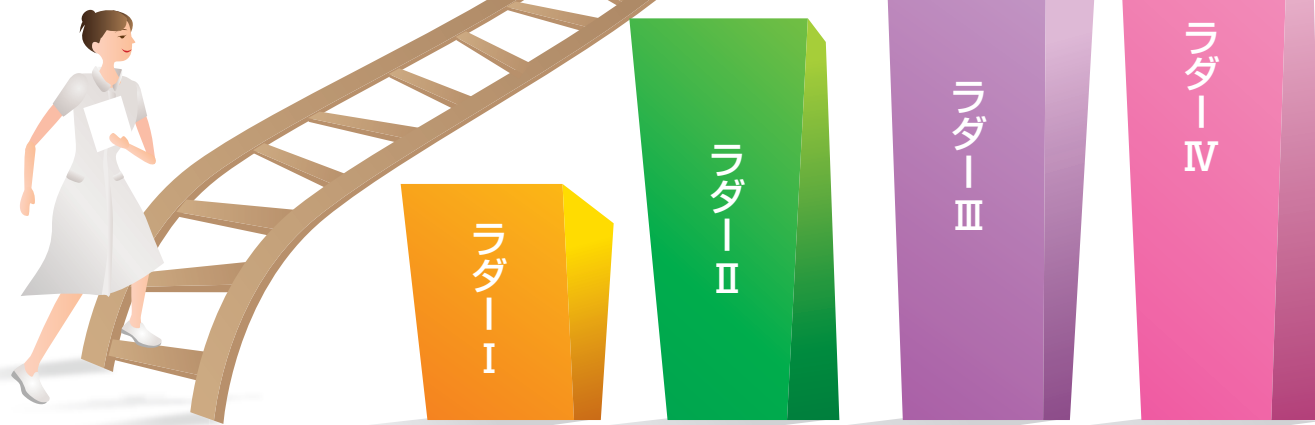
キャリア開発

院内継続教育

目標管理

育児支援

Career Up



院内認定看護師育成プログラム

キャリアを積み重ねた看護職員に対し、現在、静脈注射エキスパートナース、指導看護師、がん看護エキスパートナース、在宅療養支援エキスパートナースを養成しています。



静脈注射 エキスパートナース

安全な静脈注射の実践に向けた教育プログラムを修了し、記述試験と認定レポートで資格認定を受け、役割発揮に取り組んでいます。

静脈注射エキスパートナースは、部署における実践モデルとなって活躍しています。



指導看護師

部署内教育のリーダーとして、部署内教育計画の企画・実施・評価を行うとともに、基礎教育における非常勤講師及び臨床指導者として講義や技術演習を担当する役割を担っています。

認定試験・認定審査に合格後部署で役割発揮しております。指導看護師として活躍しています。



がん看護 エキスパートナース

院内全体で最先端医療を担うジェネラリストの専門性を強化するためにプログラムが開発されました。「ベーシックコース」と「エキスパート養成コース」で構成され、治療や病期に応じた的確なアセスメント力を身につけ、専門的ながん看護の実践方法を習得しています。エキスパート養成コース修了者は、認定試験に合格後認定され、がん看護エキスパートナースとして活躍しています。



人工呼吸器認定者による 院内ラウンド

人工呼吸器管理に関する助言、指導を行い、部署の管理水準を向上するために週に1回病棟を巡回しております。



在宅療養支援 エキスパートナース

在宅療養支援のための知識とスキルを学び、患者と家族の視点に立って次の療養の場を計画的に準備・調整する能力を高めることをねらいに開始されました。在宅療養支援エキスパートナースとして活躍しています。

看護部現任教育

1

ジェネラリストとしての能力が獲得できる

教育目的

専門職の自覚を持ち、患者の個性を尊重した計画的な看護が主体的に実践できるよう教育支援します

2

医療チームでの役割を自覚し、リーダーシップが発揮できる

教育目標

3

キャリア開発のために主体的に学習できる

4

研究的な視点・姿勢で看護に取り組むことができる



能力開発ラダー 到達目標	ラダー別研修	経年別研修
IV チーム医療のキーパーソンとしてあらゆる状況において最適なケアマネジメントができる	●看護管理研修	
Ⅲ 高い倫理性を身につけ、対象者の健康と生活を支える実践モデルとなることができる		
Ⅱ 倫理性をもち、自立して対象者の健康と生活を支える臨床実践ができる	●看護倫理研修 ●リーダー研修 ●看護研究研修 ●看護過程研修	●3年目研修
I 助言や指導を受けながら基本的な臨床実践ができる		
新人		●1年目研修 ●新人看護職員研修

役割別研修	院内認定 エキスパート研修
●看護師長研修 ●副看護師長研修 ●看護必要度 指導者研修 ●プリセプター研修 ●看護助手研修	●静脈注射エキスパート ナース院内認定研修 ●指導看護師養成研修 ●がん看護ベーシック ●がん看護エキスパート ナース養成研修 ●在宅療養支援エキス パートナース養成研修
専門領域別研修	その他
●専門看護師、 認定看護師等が 企画・運営する、 最新の知識・技術を 学ぶ研修	●職場復帰プログラム ●中途採用者研修 ●英会話セミナー ●中国語セミナー ●ナースングスキル

特定行為研修

看護師の特定行為研修に係る研修機関の指定について

特定行為研修は、看護師が手順書により特定行為を行う場合に特に必要とされる実践的な理解力、思考力及び判断力並びに高度かつ専門的な知識及び技能の向上を図るための研修です。2020年に厚生労働大臣が指定する研修機関として認定されました。

当院で研修可能な特定行為は25行為で、これまで9名の研修修了者を養成しています。



特定行為研修修了者の活動

特定行為とは、診療の補助であって、看護師が行う医療行為のうち、手順書により行う場合には、実践的な理解力、思考力および判断力、高度かつ専門的な知識・技能が特に必要とされるものとして定められた38の行為です。

特定行為研修修了者は、医療チームの中で医療提供の質向上、看護師の役割拡大を担い、各分野で活躍しています。



特定行為研修修了者

中央診療検査I ナースセンター 渡邊 由紀子



私は、入職してから多くの専門分野を学ぶ機会や経験を得て、今年度より特定行為研修修了者として働いています。現在は血管造影室で特定行為を実践し、医師と看護師両方の目線で患者を看することで、質の高い看護ができることにやりがいを感じています。

北大はキャリアアップに挑戦する機会が沢山あり、様々な分野で資格を取得した看護師が多く働いています。みなさんも一緒に働いて看護の専門性を高めキャリアアップを目指していきませんか。

専門領域で活躍する看護師

専門領域看護師会

専門
看護師

認定
看護師

専門
領域の
看護師



病院内では、専門看護師、認定看護師が専門分野に熟練した看護技術と知識を用いて、北海道大学病院の中で患者さんにより良い看護を提供できるよう、そして、そのケアを行う看護師それぞれのスキルアップのために活動しています。

専門領域看護師会研修会



院内スタッフに自分たちの活動を伝えたり、後進の育成や相談にのっています。

分野別人数表

専門看護師		認定看護師				学会認定			
がん看護	3名	がん化学療法看護	6名	救急看護	1名	手術看護	2名	認定HIV感染症 指導看護師	1名
慢性疾患看護	1名	がん薬物療法看護	1名	クリティカルケア	2名	糖尿病看護	1名		
小児看護	1名	緩和ケア	1名	小児救急看護	1名	認知症看護	2名	認定HIV感染症 看護師	1名
急性・重症患者看護	2名	がん放射線看護	3名	新生児集中ケア	2名	摂食嚥下障害看護	1名		
精神看護	1名	皮膚・排泄ケア	3名	感染管理	3名				

チーム医療

退院調整・在宅療養支援 カンファレンス

地域医療連携福祉センターは、地域の病院との連携を推進し、患者さん、ご家族が安心して生活の場に戻るよう、専任の看護師やソーシャルワーカーが地域との懸け橋となり支援しております。

定期的にカンファレンスを行い、患者さんが質の高い在宅生活を送れるように支援しています。医療が継続できるよう遠隔でのカンファレンスを実施しています。



栄養サポートチーム (NST)

栄養サポートチームは、医師・看護師・薬剤師・管理栄養士などの多職種が協働して活動しています。

毎週一回、チームカンファレンスと回診を行い、患者さんの全身状態の改善と合併症の予防や適切な栄養管理を実施し、患者さんの早期回復を支援しています。



褥瘡対策チーム

褥瘡対策チームは、医師・看護師・薬剤師・管理栄養士・理学療法士などの多職種が協働して活動しています。

週1回の褥瘡回診を行い、褥瘡の評価や処置方法の検討、除圧方法の見直しなど病棟スタッフと一緒に患者さんのケアを実践し、褥瘡予防と回復過程を支援しています。



緑豊かな北海道大学構内に本院と隣接して 快適で便利な保育・宿舎施設を用意しています

育児サポート

職場復帰プログラム



当院では、結婚・子育て等で臨床現場から数年離れた看護師を対象に、復職支援を行っています。

プログラムの内容

- | | |
|--------------|-------------|
| ①看護のキャリアデザイン | ⑤医療安全管理 |
| ②人事・労務管理について | ⑥臨床の看護倫理 |
| ③個人情報保護法 | ⑦職場復帰後の支援体制 |
| ④感染対策の実践 | ⑧育児体験者との交流 |

個人の状況に合わせて、キャリア支援室が技術のトレーニングを支援しています。

北海道大学病院 保育園ポプラ

札幌市北区北18条西7丁目(北海道大学構内)

- 保育対象年齢／0歳から就学前のお子さん
- 利用対象者／原則として、北海道大学病院に勤務する職員の乳幼児
- 保育時間／7:30～18:30
延長保育18:30～21:30まで



病後児保育室 ぶらん

札幌市北区北14条西5丁目 北海道大学病院 D棟1階

- 病気の回復期に入ったお子様をみてもらえる病後児保育室です。

その他 北海道大学敷地内保育施設

- 国立大学法人 子どもの園保育園
- 事業所内保育所 ともに

育メン・育ママ看護師

育メン 8-2ナースステーション 小林 凌



妻と共働きですが、子供の保育園の行事や家族のライフイベント時は休暇希望により職場の協力も得ながらワークライフバランスを充実させることができます。子供の出産時には育休制度を利用して育児参加することができます。仕事と育児の両立は忙しく大変なこともありますが、北大病院はキャリアアップしながら育児サポートをしてくれる環境が整っているので、日々頑張ることができています。

育ママ 医科外来NC 片山 梨沙



育児休業明けは自分の家族背景などに合わせて多様な勤務形態から働き方を選択でき、育児と仕事を両立することができます。子どもの急な発熱や行事の際はスタッフの理解や協力の元、勤務調整することができます。また、子育てをしながらでも自分の経験や学びたい看護に合わせてキャリアアップを図ることができ、やりがいを感じて働くことができます。

先輩看護師からのメッセージ 私たちと一緒に素晴らしい 看護を提供するために頑張っていきましょう



熊坂 ななみ

8-2ナースステーション
(入職年：2023年)

循環器外科・循環器内科・呼吸器外科

北海道大学
医学部保健学科看護学専攻 卒

私は、北大病院の特徴である患者参加型看護に魅力を感じ、入職を決めました。院内研修が充実していることや、不安があっても病棟の先輩方から手厚い支援を受けられるため、看護師として成長できる環境だと感じています。

私の所属する病棟は、心臓・呼吸器疾患を有する患者さんに対して周術期～退院に向けた看護を提供しています。仕事を覚えることで精一杯の毎日ですが、看護を通して患者さんの笑顔が見られることがやりに繋がっています。



王 海森

10-2ナースステーション
(入職年：2023年)

呼吸器内科

旭川大学
保健福祉学部看護学科 卒

私は先進的な医療に触れながら、看護師として国際的な関わりで力を発揮したいと思い北大病院に入職を決めました。所属している病棟は呼吸器疾患患者への検査や日常生活の援助、がん患者への化学療法や放射線療法、緩和ケアなど幅広い看護やケアが必要とされ、患者に寄り添った看護を大切にしています。患者が安全安楽に入院生活を送れるための看護が提供できるように、プリセプターや周りの先輩のサポートを受けながら少しずつ成長していける職場環境です。また、外国の方が入院してくる際に、力を発揮できることにやりがいを感じています。



伊藤 京輔

6-2ナースステーション
(入職年：2022年)

脳神経外科・脳神経内科・歯科

北海道科学大学
保健医療学部看護学科 卒

私は、北大病院の最先端の医療を学びながら、患者参加型看護といった方針に惹かれ患者さんに寄り添う看護を学びたいと考え入職を決めました。

所属している部署では、脳腫瘍に対する摘出の手術や化学療法、放射線療法など最先端の医療を実践しています。多くの知識が必要となりますが、先輩方の支援を受けながら少しずつ成長していること実感して働くことができています。また、新人研修では所属部署で学ぶことのできない技術も学ぶことができるため、充実した教育環境が整っています。



加藤 美香

医科外来ナースセンター
(入職年：2013年)

レシピエント移植コーディネーター

大阪大学
医学部保健学科看護学専攻 卒

私は、以前は他病院に勤めていましたが、プライベートの都合にて北大病院へ転職しました。北大病院は、既卒者への教育プログラムも充実しており、安心して働くことができました。ここで学ぶうちに、移植看護のスペシャリストになりたいという目標を見つけることができ、今は移植コーディネーターとして働いています。

北大病院は、ジェネラリスト、エキスパート、スペシャリスト、どんな「なりたい自分」に対してもサポートが厚く心強い職場です。



中谷 亮太

12-2ナースステーション副看護師長
(入職年：2015年)

血液内科・消化器内科

北海道大学医学部保健学科看護学専攻 卒
北海道大学大学院

当科では、様々な病状のがん患者さんとそのご家族に対し、倫理的な視点・QOLの視点に立った看護を大切にしています。

当院はキャリア開発支援が充実しており、私も上司や周囲のスタッフのサポートを受け、大学院修士課程を修了することができました。また、副看護師長としてスタッフがやりがいを持って働けるようなチーム作りを目指しています。多くの経験や学びが得られ、看護師として、人としての成長を支えてくれる職場です。



春木 綾子

4-1ナースステーション看護師長
(入職年：2008年)

産科・周産母子センター

北海道立衛生学院
助産学科 卒

私は、今年度より産科師長になりました。産科病棟は、ハイリスクの方が多く、全道から患者さんを受け入れています。スタッフは、妊産婦さんの希望に沿った、安全なお産と育児を支援しています。部署では、教育支援チームを中心に、ハイリスクが多い中でも、助産師としてキャリアを積み重ねられるよう、課題を共有しながら新入職者の支援をしています。また、他施設への分娩研修も行っています。私たちと一緒に、妊産婦さん・赤ちゃんのケアに活躍してくれる方の入職をお待ちしています。